

尚且組合長も聲明し置キ下ラシク使用サレニ於テハ製粉物業家
ル打撃手(層大ナルモノアリ)延ヒテ將來之ウツメ倒産ノ止ムナキニ至ルノ議
起リテ之ヲ防止策ニ付種々疑議ヲ遂ケ製粉組合ニ交渉ノ結果
漸ク昨(年)十一月(製粉)期ニ先立チ

一六正三年度ニヨール物混合ハ使用数量ノ一割シル事

ニ尚從來小麦挽賃一石七十五米ナリシラ七十米トシ其内二十米ハ素
麵販路擴張費ニ空ヲ付スルコト

ニ協定成リシク

製粉物業組合側

茲ニ於テ製粉業者側ハ前記協約ニ依ル擴張費空ヲ附金
二十米ヲ追加算ニ計上シ正式手續ヲ経ラレタキニヨリ製粉組合
ニ要求シタル(同組合ニ於テ)既ニ主腦者ニ六七居ル如キ狀況ニ
テ以テ容易ニ決定ヲ見ス去リトテ最早節季ニ切迫(一月二十日)總

野定(トス)セルコトテ一般組合員ニ周知セシメサルハカラストナ存クニ慮
シル模様ナルガ(仍等)回答ニ接セラルヲ以テ客月初旬製粉組合
ニ對シ小麦挽賃一石六十米ニセラレタト再ヒ交渉シタルモ之亦仍等
回答ニ接セザリシヲ以テ到底(實行)覚束ナキト見テ遂ニ二月二十日
一般組合員ニ對シ挽賃五十米ナル旨發表シタリ

製粉物業組合

製粉業者ト締結シタル協約ニ代ルニ斯業不振ノ故以テ各
年末一般使用職ニ對シ賃銀二割方値下スル旨發表シタルガ
(從來一四五米ヲ八五米ニ下ケ但シ(食)付)今亦製粉組合ハ量裏
ノ協約一石七十米ナルヲ五十米トシ組合員ニ発表シタルハ甚ク不都
合ナト憤慨シ之ヲ善後策ニ付種々協議シタル模様ナルニ既ニ
内証ヲ生シ居ル事トテ容易ニ協議纏ラヌ加之製粉業者中
斯業不振ノ影響百ヲ受ケ経営困難ニ陥リ休業セシムル者

3)